

1 教育目標

(1) 基本目標

人間尊重の精神を基盤として、知・徳・体の調和のとれた、心身ともに健康で人間力豊かな児童の育成

(2) 具体目標（具体的な児童生徒像など）

- よく考える子ども（自ら学び考える行動力の育成）
- 思いやりのある子ども（豊かな人間性の育成）
- 体力のある子ども（心身ともに健やかな身体の育成）
- はたらく子ども（社会で生きて働く力の育成）

2 学校経営の理念

子どもたちが心身ともに健やかに育つことをめざし、学校・保護者・地域が協同して、生き生きとした活気あふれる学校づくりに努める。そのため、人間尊重の精神を基盤とし、家庭・地域の教育力の活用を図りながら、高い指導力を備えた教師による豊かな教育活動を展開し、子どもたちの人間力を豊かに育成する。

※人間力：社会を構成し運営するとともに、自立した一人の人間として力強く生きていくための総合的な力

3 学校経営の方針

(1) 学習指導の充実

生きる力としての確かな学力を身に付け、その基礎学力を実社会や実生活の中で活用できる力を育む教育を工夫・創造する。

(2) 豊かな心の育成

思いやりの心を高め、自他の生命を尊重する心など豊かな心を育む。

(3) 心身ともに健やかな身体の育成

健康で安全に生活できる能力を身に付け、気力や体力をはぐくむ教育活動の充実を図る。

(4) 人間力の育成

社会的自立の基礎を培うことが基盤となる「生きる力」の実現に向けて、社会で生きて働く実践力・行動力を育成する。

(5) 信頼される開かれた学校づくりの推進

子どもは地域の中で育むという視点をもち、学校、家庭、地域、及び産業等との連携、協働を図りながら信頼される開かれた学校づくりを推進する。

(6) 特別支援教育の充実

一人一人の教育的ニーズに応じた適切な教育の推進に努める。

(7) 教師力の向上

教職員として使命感や誇りをもち、自己研鑽に励み、協働しながら教師集団の総合的な指導力を高め教師力の向上に努める。

(8) 危機管理・環境整備の充実

子どもが安心して安全に過ごせるとともに、潤いのある学校環境の整備に努める。

4 今年度の重点目標

(1) 学校運営

「明るく活気のある雰囲気の中で、子どもが生き生きと学習・活動する学校づくり」

－ 明るく、楽しい、活気に満ちた学校 －

(2) 児童生徒指導

「互いのよさを認め、豊かな人間関係を築くことのできる児童の育成」

－ あいさつ運動、読書活動の推進を基盤として －

(3) 健康・体力

「自らの健康・体力に関心をもち、進んで体力の向上に励む児童の育成」

－ プチトレーニングの取組を通して －

(4) 学習指導

「基礎・基本の定着を図り、主体的に学習に取り組む児童の育成」

－ 「学び合う」学級・集団を基盤として －

5 児童生徒指導、健康・体力、学習指導に関する取組

※ 別添1～3参照

6 特色ある学校づくりに関する取組

(1) 育てたい資質・能力

- ① 互いの良さに気づき認め合い、自分に自信を持ち、さらに自己を高め夢に向かって歩み続ける人間力
- ② 豊かな感性や情操
- ③ 豊かな人間関係を築こうとする態度
- ④ 体力に関心を持ち、進んで体力の向上に励む態度
- ⑤ コミュニケーション力及び社会や周囲の人々に配慮した判断力、自律心、社会性

(2) 具体的取組（提案型予算「頑張る学校プロジェクト」関連には、文頭に◇）

- ◇① あいさつ運動の推進
- ◇② 読書活動の推進
- ◇③ 縦割り班活動の充実
- ◇④ 「プチトレーニング」の推進
- ◇⑤ 外国語活動の充実